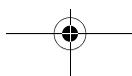
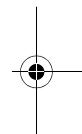
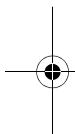
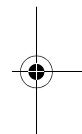
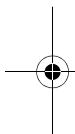




HP 10s+ 関数電卓

ユーザーガイド

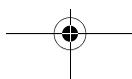
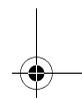
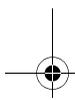




© Copyright 2012 Hewlett-Packard Development Company, L.P.
本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。本情報の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに関する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。本情報の内容につきましては万全を期しておりますが、本情報の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねますのでご了承ください。

初版：2012年6月

製品番号：697634-291



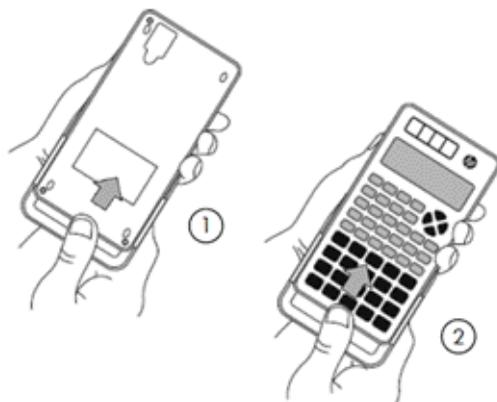
目次

保護ケースの使用	1
安全に関するご注意	1
注意	1
電池	2
廃棄する場合	2
その他の注意事項	2
2行表示	3
使用前の準備	4
モード	4
入力文字数	5
前回の計算の呼び出し	5
エラー インジケータ	6
マルチステートメント	6
指数による表示形式	6
小数点と桁区切り	7
関数電卓の初期化	7
基本的な計算	8
算術演算	8
分数の計算	8
小数表示と分数表示の切り替え	9
パーセント (%) の計算	10
分秒の計算	11
FIX1、SCI、RND	11
小数点以下指定、有効桁数指定および 内部数値丸め	11
メモリを使った計算	13
Ans メモリ	13
連続計算	13
変数メモリ M	14
変数メモリ	14

関数	15
三角関数、逆三角関数	15
双曲線関数および逆双曲線関数	16
常用対数、自然対数、および真数	16
平方根、立方根、べき乗根、2乗3乗、逆数、階乗、 乱数、円周率 (π)、順列および組み合わせ	16
角度単位の変換	18
座標系 (Pol (x, y), Rec (r, θ))	18
工学表記	19
統計	19
標準偏差 -SD	19
データ入力のヒント	21
回帰 -REG	22
直線回帰	24
対数回帰、指数回帰、べき乗回帰、および 逆数回帰	25
2次回帰	26
データ入力のヒント	27
技術データ	28
トラブルシューティング	28
エラーメッセージ	28
入力範囲	30
計算の順序	32
スタック	34
自動節電機能	34
電池の交換	35
仕様	36
規定に関するご注意	37
European Union Regulatory Notice (欧州連合向け)	37
Korean Notice Class B (韓国向けクラス B)	38
Perchlorate Material – special handling may apply (米国向け)	38
Disposal of Waste Equipment by Users in Private Household in the European Union (欧州連合向け)	39
化学物質	39
China RoHS (中国向け RoHS)	40

保護ケースの使用

1. 関数電卓を使用するには、本体を保護ケースからスライドさせて取り出します①。
2. 関数電卓を使い終わったら、本体をスライドさせてカバーを取り外します②。保護ケースを使用する場合は、本体のキーボード側からスライドさせて装着します。



安全に関するご注意

関数電卓を使用するには、事前に安全に関する以下の注意事項をよくお読みください。必要なときに参照できるように、このガイドは手近な場所に保管してください。

このガイドの画面およびキーは説明用に表記されており、実際のものとは多少異なる場合があります。

注意



この記号は、安全に関する注意事項を無視すると、装置の損傷や損害を被るおそれがあることを示します。

電池

- 電池はお子様の手の届かない場所に保管してください。万が一電池を飲み込んでしまった場合は、ただちに医療機関の診断を受けてください。
- 電池を充電したり、壊そうとしたりしないでください。また、電池の回路をショートさせたり、電池を加熱したりしないでください。
- 新しい電池を入れるときは、プラス記号 (+) が上になるように入れてください。
- このガイドで指定されている電池のみを使用してください。

廃棄する場合

- この関数電卓は焼却炉に投入しないでください。破裂によるけがや火災の原因となるおそれがあります。

その他の注意事項

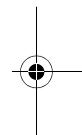
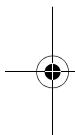
- 初めてこの関数電卓を使用するときは、最初に **ON** キーを押してください。
- 付属の電池は、工場出荷時からお買い上げまでの間に多少消費している場合があります。このため、付属の電池は新しい電池よりも寿命が短くなる場合があります。
- 電池の残量が非常に少なくなると、関数電卓のメモリが破損したり、完全に失われたりする場合があります。重要な情報が失われないようにするために、関数電卓とは別に情報の控えを残しておいてください。
- 極端な条件下での保管や使用は避けてください。

低温では関数電卓の応答速度が遅くなったり、画面表示が不完全になったり、電池寿命が短くなったりします。また、直射日光の当たる場所や暖房器具の近くに関数電卓を置かないでください。高温はケースの変色や変形、または電子回路の故障の原因になります。



- 湿気やほこりの多い場所での保管や使用を避けてください。電子回路が故障するおそれがあります。
- 関数電卓を落としたり、強い力を加えたりしないでください
- ひねったり曲げたりして、関数電卓を変形させないでください。
注：ポケットに入れておくと、関数電卓をひねったり曲げたりするおそれがあります。
- ペンなどの尖ったもので関数電卓のキーを押さないでください。
- 関数電卓を掃除するときは、柔らかい乾いた布を使用してください。関数電卓のケースを取り外すと保証が適用されなくなります。

汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤を使って掃除してください。洗剤に布を浸し、固く絞ってから関数電卓を拭きます。ベンジンや賦形剤、その他の揮発性溶剤は使用しないでください。ケースやキーが損傷するおそれがあります。

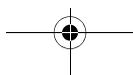


2行表示

計算式と答えの両方が表示されます。計算式と答えは2行にわたって表示されます。

- 上の行に計算式が表示されます。
- 下の行に答えが表示されます。

答えが4桁以上になる場合は、3桁ごとに区切り記号が表示されます。



使用前の準備

モード

計算を始める前に、適切なモードを選択してください。

計算の種類	操作	計算モード
基本的な計算	MODE 1	COMP
標準偏差	MODE 2	SD
回帰計算	MODE 3	REG

- **MODE** キーを押すたびに、それぞれの設定画面が順番に表示されます。各設定画面については、このガイドの後半で説明しています。
- このガイドでは、計算を説明するときに、計算の種類に必要なモード設定を記載しています。

注：

- 関数電卓を以下の初期設定に戻すには、**SHIFT** **CLR** **2** (Mode) **≡**の順に押します。初期設定は以下のとおりです。

計算モード： COMP
 角度の単位： Deg
 指数による表示形式：Norm 2
 分数表示： a b/c
 小数点記号： Dot

- モード インジケータは表示部の上段に表示されます。
- 計算を始める前に、計算モード (COMP、REG、またはSD) と角度の単位 (Deg、Rad、またはGrad) を確認してください。

入力文字数

- この関数電卓のメモリは、1回の計算につき79ステップまで使用できます。数字や算術演算子（ $+$ 、 $-$ 、 \times 、 \div ）のキーを1つ押すと、ステップが1つ占有されます。 SHIFT または ALPHA はステップ1つ分を占有しません。たとえば、 SHIFT = を押しても、1ステップと数えられます。
- 73ステップ目以降の入力になると、カーソルが_から■に変わり、まもなくメモリの容量に達することが示されます。80ステップ以上の入力が必要な場合は、計算式を分割して個々の計算式を計算してから、それぞれの計算結果をまとめてください。
- Ans を押すと、前回の計算結果を呼び出して、計算を続けることができます。 Ans キーについて詳しくは、「メモリを使った計算」のセクションを参照してください。

前回の計算の呼び出し

- 各計算式と計算結果は記憶されます。 \blacktriangleleft を押すと、前回の計算式と計算結果が呼び出されます。その後、 \blacktriangleright を押すたびに、1つ前の計算式と計算結果が呼び出されます。
- 以前の計算を呼び出すと、 \blacktriangleleft または \blacktriangleright を押して編集モードにできます。
- 計算の後、すぐに \blacktriangleleft または \blacktriangleright を押すと、計算式を編集できます。
- AC を押しても、関数電卓に記憶された内容は消去されません。このため、もう一度 AC を押すと、以前の計算を利用できます。
- 関数電卓が記憶できる式と答えの容量は128バイトまでです。

- 関数電卓の記憶内容は、以下の場合に消去されます。
 - **ON** キーを押した場合
 - **SHIFT** **CLR** **2** (または **3**) **=** を押した場合 (こうすると関数電卓が初期化されます)
 - 計算モードを変更した場合
 - 電源をオフにした場合

エラー インジケータ

エラーが発生した場合は、**◀**または**▶**を押してください。計算が再表示され、エラーの位置にカーソルが表示されます。

マルチステートメント

マルチステートメントとは、複数の数式で構成される数式のことです。各数式はコロン (:) で区切られます。

指数による表示形式

この関数電卓には最大で10桁を表示できます。11桁以上が必要な値は、自動的に指数で表示されます。2つの指数形式を使用できます。

- 表示形式を変更するには、適切な設定画面が表示されるまで **MODE** を繰り返し押します。

Fix	Sci	Norm
1	2	3

- 指数を設定するには、**3** を押します。表示される設定画面で、**1** を押して [Norm 1] を選択するか、**2** を押して [Norm 2] を選択します。
- Norm 1
絶対値が 10^{10} 以上または 10^{-2} 未満の数は自動的に指数表示されます。

- Norm 2

絶対値が 10^{10} 以上または 10^{-9} 未満の数は自動的に指数表示されます。

- このガイドでは、計算結果をNorm 1の形式で表記します。

小数点と桁区切り

表示設定 ([Disp]) 画面を使用して、必要な小数点記号と、3桁ごとに数字を区切るための記号を指定します。

- これらの設定を変更するには、設定画面が表示されるまで[MODE]を繰り返し押します。

Disp
1

- [1] [▶]と押すと、設定画面が表示されます。
- 目的の設定に対応する数字キー ([1]または[2]) を押します。
 - [1] (Dot) : 小数点はドットで、桁区切りはコンマで表示されます
 - [2] (Comma) : 小数点と桁区切りがコンマで表示されます

関数電卓の初期化

- 関数電卓を初期化する（記憶内容とすべての変数が消去され、すべてのモードが初期設定に戻ります）には、次のキーを押します：[SHIFT] [CLR] [3] (ALL) [=]

基本的な計算

算術演算

基本的な計算を行うには、**MODE** を押して COMP モードを選択します。

COMP..... **MODE** **1**

- 負の値をべき乗する場合には、必ずマイナス記号ごと値を括弧で囲んでください。詳しくは、32ページの「計算の順序」を参照してください。

- 負の指数をカッコで囲む必要はありません。

$$\sin 4.56 \times 10^{-8} \rightarrow \boxed{\sin} \boxed{4.56} \boxed{\text{EXP}} \boxed{(-)} \boxed{8}$$

- 例1: $3 \times (4 \times 10^{-7}) = 1.2 \times 10^{-6}$

$$3 \boxed{\times} \boxed{4} \boxed{\text{EXP}} \boxed{(-)} \boxed{7} \boxed{=}$$

- 例2: $2 \times (3 \times 4) = 14$

$$2 \boxed{\times} \boxed{(} \boxed{3} \boxed{+} \boxed{4} \boxed{)} \boxed{=}$$

- 続いて **=** キーを押す場合は、数式の末尾の **)** を省略してもかまいません。

分数の計算

- 計算結果の整数、分子、分母、区切り記号の合計桁数が11桁以上になる場合、値は自動的に小数で表示されます。

- 例1: $\frac{1}{3} + \frac{2}{5} = \frac{11}{15}$

$$1 \boxed{\text{ab/c}} \boxed{3} \boxed{+} \boxed{2} \boxed{\text{ab/c}} \boxed{5} \boxed{=} \boxed{11} \boxed{,} \boxed{15}$$

• 例2 : $3\frac{1}{2} + 2\frac{3}{4} = 6\frac{1}{4}$

3 1 2

2 3 4

• 例3 : $\frac{6}{9} = \frac{2}{3}$

6 9

• 例4 : $\frac{1}{4} + 1.8 = 2.05$

1 4 1.8

- 分数と小数が混在する計算では、通常、計算結果は小数で表示されます。

小数表示と分数表示の切り替え

• 例1 : $3.25 \leftrightarrow 3\frac{1}{4}$

3.25

(小数↔分数)

• 例2 : $\frac{1}{5} \leftrightarrow 0.2$

(分数↔小数)

1 5

帯分数と仮分数の切り替え

- 例 : $2\frac{3}{4} \leftrightarrow \frac{11}{4}$

2 3 4

- 分数の表示形式を変更するには、以下の画面が表示されるまで を繰り返し押します。

Disp
 1

- を押すと、設定画面が表示されます。
- 必要な設定に対応する数字キー (または) を押します。
 - (a b/c) : 帯分数
 - (d/c) : 仮分数
- d/c形式を選択して帯分数を入力すると、エラーが発生します。

パーセント (%) の計算

パーセント (%) の計算について

- 例1 : 1000の15%は? (150)
 1000 15
- 例2 : 330は440の何%? (75%)
 330 440
- 例3 : 1000の15%増しは? (1150)
 1000 15
 10

- 例4: 1000の15%引きは? (850)

1000 \times 15 SHIFT $\%$ =

- 例5: 元の重さが400 gのサンプルに100 gを追加しました。合計した重さは元の重さの何%になりますか?

(125%)

100 $+$ 400 SHIFT $\%$ =

- 例6: 温度が60°Cから66°Cに上がりました。何%の上昇ですか? 69°Cまで上がったなら何%の上昇ですか?

(10%、15%)

66 = 60 SHIFT $\%$ ▶ ▶ 9 =

分秒の計算

60進数と10進数との変換ができます。

- 例1: 10進数の1.234という値を60進数に変換してから再び10進数に戻します。

1.234 = 1.234

SHIFT ↔ 1° 14' 2.4

↔ 1.234

- 例2: $12^\circ 34' 56'' \times 7.89$

12 ↔ 34 ↔ 56 ↔ \times 7.89 = 99°16'25.44

FIX1、SCI、RND

小数点以下指定、有効桁数指定および内部数値丸め

- 表示形式の設定を変更するには、以下の画面が表示されるまで MODE を繰り返し押します。

Fix	Sci	Norm
1	2	3

- 変更する設定に対応する数字キー (1、2、または3) を押します。

1 (Fix) : 小数点以下の桁数を指定します。

2 (Sci) : 有効桁数を指定します。

3 (Norm) : 標準の表示形式に設定します。

- 例1 : $100 \div 3 \times 15$

$$100 \div 3 \times 15 = 500.$$

(ここで小数点以下3桁が表示されるよう指定します。)

$$\text{MODE} \dots \dots \text{1 (Fix) 3} \quad \text{Fix} \\ 500.000$$

(3桁に固定されるのは表示精度のみです。計算はすべての桁数を使って行われます。)

$$100 \div 3 = 33.333$$

$$\times 15 = 500.000$$

(指定した小数点以下の桁数に数字を丸めることもできます。)

$$100 \div 3 = 33.333$$

$$\text{(内部数値丸め)} \quad \text{SHIFT Rnd} \quad 33.333$$

$$\times 15 = 499.995$$

- $\text{MODE} \dots \dots \text{3 (Norm) 1}$ と押すと、設定がキャンセルされます。

- 例2 : $2 \div 3$

計算結果を有効桁数2桁 (Sci 2) で表示

(Sci) 0 を使用して、有効桁数10桁 (Sci 10) で計算結果を表示することもできます。

- $\text{MODE} \dots \dots \text{3 (Norm) 1}$ と押すと、設定がキャンセルされます。

メモリを使った計算

メモリを使った計算を行うには、**MODE** を押して COMP
モードにします。

COMP.....**MODE** **1**

Ansメモリ

- Ansメモリは、**=** を押したときの計算結果でアップデートされます。
- また、A~F、M、X、またはYの後に、**SHIFT** **%**、**M+**、**SHIFT** **M-** または **SHIFT** **STO** を押した場合にもアップデートされます。
- **Ans** を押すとAnsメモリの内容が呼び出されます。
- Ansメモリには一度に1つの値のみ保存できます。
- 上記のキーを使って計算しているときにエラーが発生すると、Ansメモリはアップデートされません。

連続計算

- 画面に表示されている計算結果を、次の計算の最初の値として使用できます。これを行うには、演算子キーを押すだけです。画面に[Ans]と表示され、前回の計算結果が使用されていることを示します。
- 前回の計算結果は、以下の計算にも使用できます：
(x^2 、 x^3 、 x^{-1} 、 $x!$ 、DRG▶)、+、-、 $\wedge x^y$ 、 $\sqrt[x]{y}$ 、 \times 、 \div 、 ${}_n P_r$ 、または ${}_n C_r$

変数メモリM

- 変数メモリMを使用すると、累計を計算できます。累計値は、変数Mで直接計算することも、変数Mに保存される数に加算または減算して得ることもできます。
- 独立した変数メモリMに保存されているすべての値を消去するには、 $\boxed{0} \boxed{\text{SHIFT}} \boxed{\text{STO}} \boxed{\text{M}}$ (M+) を押します。

$$12 + 3 = 15 \quad 12 \boxed{+} \boxed{\text{SHIFT}} \boxed{\text{STO}} \boxed{\text{M}} \text{ (M=)}$$

$$45 - 6 = 39 \quad 45 \boxed{-} \boxed{6} \boxed{\text{M+}}$$

$$\underline{-38 \times 2 = 76} \quad 38 \boxed{\times} \boxed{2} \boxed{\text{SHIFT}} \boxed{\text{M-}}$$

$$\text{(合計)} \quad -22 \quad \boxed{\text{RCL}} \boxed{\text{M}} \text{ (M+)}$$

変数メモリ

- A~F、M、X、Yの9つの変数メモリがあり、これらにはデータや定数、答えなどの数値を保存できます。
- 1つの変数を消去するには、その変数メモリにゼロを保存します。たとえば、 $\boxed{0} \boxed{\text{SHIFT}} \boxed{\text{STO}} \boxed{\text{A}}$ を押します。これで変数Aが消去されます。
- すべての変数の値を消去するには、 $\boxed{\text{SHIFT}} \boxed{\text{CLR}} \boxed{1}$ (Mcl) $\boxed{=}$ を押します。

- 例：

$$\underline{1234} \div 20 = 61.7$$

$$\underline{1234} \div 25 = 49.36$$

$$1234 \boxed{\text{SHIFT}} \boxed{\text{STO}} \boxed{\text{A}} \boxed{\div} \boxed{20} \boxed{=}$$

$$\boxed{\text{ALPHA}} \boxed{\text{A}} \boxed{\div} \boxed{25} \boxed{=}$$

関数

関数計算を行うには、**MODE** を押して COMP モードに
 します。

COMP.....**MODE** **1**

- 一部の関数計算は、他の種類の計算よりも時間がかかる場合があります。
- 画面に計算結果が表示されてから次の計算に移ってください。
- $\pi = 3.14159265359$

三角関数、逆三角関数

- 角度の単位（度、ラジアン、またはグラード）を変更するには、以下の画面が表示されるまで **MODE** を繰り返し押します。

Deg	Rad	Gra
1	2	3

- 使用する角度の単位に対応する数字キー (**1**、**2**、
 または**3**) を押します。

$$(90^\circ = \frac{\pi}{2} \text{ラジアン} = 100\text{グラード})$$

- 例1 : $\sin 12^\circ 34' 56'' = 0.217840422$

MODE ... **1** (Deg) **sin** 12 **°** 34 **'** 56 **"** **=**

- 例2 : $\cos(\frac{\pi}{3} \text{ rad}) = 0.5$

MODE ... **2** (Rad) **cos** (**SHIFT** **π** **÷** 3) **=**

- 例3 : $\cos^{-1} \frac{\sqrt{2}}{2} = 0.25\pi(\text{rad}) (= \frac{\pi}{4} (\text{rad}))$

MODE ... **2** (Rad)

SHIFT **cos**⁻¹ ((**√** 2 **÷** 2) **=** **Ans** **÷** **SHIFT** **π** **=**

- 例4 : $\tan^{-1} 0.789 = 38.27343992$

MODE ... **1** (Deg) **SHIFT** **tan⁻¹** 0.789 **=**

双曲線関数および逆双曲線関数

- 例1 : $\sinh 4.5 = 45.00301115$

hyp **sin** 4.5 **=**

- 例2 : $\cosh^{-1} 60 = 4.787422291$

hyp **SHIFT** **cos⁻¹** 60 **=**

常用対数、自然対数、および真数

- 例1 : $\log 1.2 = 0.079181246$

log 1.2 **=**

- 例2 : $\ln 90 (= \log_e 90) = 4.49980967$

ln 90 **=**

$\ln e = 1$

ln **ALPHA** **e** **=**

- 例3 : $e^{10} = 22026.46579$

SHIFT **e^x** 10 **=**

- 例4 : $10^{2.5} = 316.227766$

SHIFT **10^x** 2.5 **=**

- 例5 : $2^{-5} = 0.03125$

2 **y^x** **(-)** 5 **=**

- 例6 : $(-2)^6 = 64$

(**(-)** 2 **)** **y^x** 6 **=**

- 上記の例のとおり、負の値は括弧で囲む必要があることに注意してください。詳しくは、32ページの「計算の順序」を参照してください。

平方根、立方根、べき乗根、2乗3乗、逆数、階乗、乱数、円周率(π)、順列および組み合わせ

- 例1 : $\sqrt{2} + \sqrt{3} \times \sqrt{4} = 4.878315178$

√ 2 **+** **√** 3 **×** **√** 4 **=**

• 例2 : $\sqrt[3]{4} \cdot \sqrt[3]{-5} = -0.122574894$

$\boxed{\text{SHIFT}} \boxed{\sqrt[3]{x}} \boxed{4} \boxed{+} \boxed{\text{SHIFT}} \boxed{\sqrt[3]{x}} \boxed{(-)} \boxed{5} \boxed{=}$

• 例3 : $\sqrt[4]{123}(=123^{1/4}) = 3.330245713$

$\boxed{4} \boxed{\text{SHIFT}} \boxed{\sqrt[3]{x}} \boxed{123} \boxed{=}$

• 例4 : $123 + 45^2 = 2148$

$\boxed{123} \boxed{+} \boxed{45} \boxed{x^2} \boxed{=}$

• 例5 : $54^3 = 157464$

$\boxed{54} \boxed{x^3} \boxed{=}$

• 例6 : $\frac{1}{\frac{1}{2} - \frac{1}{3}} = 6$

$\boxed{(} \boxed{2} \boxed{x^{-1}} \boxed{-} \boxed{3} \boxed{x^{-1}} \boxed{)} \boxed{x^{-1}} \boxed{=}$

• 例7 : $6! = 720$

$\boxed{6} \boxed{\text{SHIFT}} \boxed{x!} \boxed{=}$

• 例8 : 0.000~0.999の間で乱数を発生させる

$\boxed{\text{SHIFT}} \boxed{\text{Rand}} \boxed{=}$ 0.654

(上記の値は一例です。ほぼ毎回、異なる乱数が生成されます)

• 例9 : $2\pi = 6.283185307$

$\boxed{2} \boxed{\text{SHIFT}} \boxed{\pi} \boxed{=}$

• 例10 : 1~6までの数字を使ってできる5桁の数字の取り得る値の総数は?ただし、1つの数字は1回しか使えないものとします(12345は可、11234は不可)。(720)

$\boxed{6} \boxed{\text{SHIFT}} \boxed{nPr} \boxed{5} \boxed{=}$

• 例11 : 10人の中から3人を選ぶ場合の可能な組み合わせは何通りありますか? (120)

$\boxed{10} \boxed{nCr} \boxed{3} \boxed{=}$

角度単位の変換

- **[SHIFT]** キーと **[DRG]** キーを押すと、以下の画面が表示されます。

D	R	G
1	2	3

- **[1]**、**[2]**、または**[3]**を押すと、表示中の値が対応する角度単位の値に変わります。
- 例：2.34ラジアンを度に変換する。

[MODE] ... **[1]** (Deg)

2.34 **[SHIFT]** **[DRG]** **[2]** (R) **[=]** 2.34r
134.0721241

座標系 (Pol (x, y), Rec (r, θ))

- 計算結果は自動的に変数メモリEおよびFに保存されます。
- 例1：極座標 ($r = 4, \theta = 30^\circ$) を直交座標 (x, y) に変換する (Deg)。

$x = 3.464101615$ **[SHIFT]** **[Rec]** 4 **[,]** 30 **[)]** **[=]**
 $y = 2$ **[RCL]** **[F]**

- **[RCL]** **[E]** と押すと、xの値が表示されます。また、**[RCL]** **[F]** と押すと、yの値が表示されます。

- 例2：直交座標 ($2, \sqrt{5}$) を極座標 (r, θ) に変換する (Rad)。

$r = 3$ **[Pol]** 2 **[,]** $\sqrt{5} **[)]** **[=]**
 $\theta = 0.84106867$ **[RCL]** **[F]**$

- **[RCL]** **[E]** と押すと、xの値が表示されます。また、**[RCL]** **[F]** と押すと、yの値が表示されます。

工学表記

- 例1 : 54321メートルをキロメートルに変換する
 ---> **54.321** × 10³ 54321 [=] [ENG]
 (km)
- 例2 : 0.01234グラムをミリグラムに変換する
 ---> **12.34** × 10⁻³ 0.01234 [=] [ENG]
 (mg)

統計

標準偏差-SD

[MODE] を押して、統計計算用のSDモードを選択します。
 このモードにすると標準偏差を計算できます。
 SD.....[MODE] [2]

SDおよびREGモードでは、[M+]キーが[DT]キーの働きをします。

[SHIFT] [CLR] [1] (Scl) [=] を押して、統計用メモリを消去してからデータを入力します。

以下のキーを押してデータを入力します :

< X データ > [DT]

以下の計算用のデータを入力します :

$n, \sum X, \sum X^2, \bar{X}, X\sigma_n, X\sigma_{n-1}$

表示結果	押すキー
ΣX^2	SHIFT S-SUM 1
ΣX	SHIFT S-SUM 2
n	SHIFT S-SUM 3
\bar{x}	SHIFT S-VAR 1
$x\sigma_n$	SHIFT S-VAR 2
$x\sigma_{n-1}$	SHIFT S-VAR 3

例：(計算式) $x\sigma_{n-1}$, $x\sigma_n$, \bar{x} , n , ΣX , ΣX^2

(使用するデータ) 15, 14, 11, 15, 13, 13, 14, 12

SDモードにして以下のキーを押します：

SHIFT CLR 1 (Scl) = (メモリを消去)

15 DT n= SD 1.

DTを押すたびに、入力したデータが保存されます。画面に表示される n の値は入力したデータのペアの数を示します。

14 DT 11 DT 15 DT
13 DT DT 14 DT 12 DT

標本標準偏差

$x\sigma_{n-1} = 1.407885953$ SHIFT S-VAR 3 =

母標準偏差

$x\sigma_n = 1.316956719$ SHIFT S-VAR 2 =

平均 (\bar{x}) = 13.375 SHIFT S-VAR 1 =

標本数 (n) = 8 SHIFT S-SUM 3 =

標本の総和 (ΣX) = 107 SHIFT S-SUM 2 =

標本の2乗和

(ΣX^2) = 1445 SHIFT S-SUM 1 =

データ入力のヒント

- **[DT]** **[DT]**と押すと、同じデータが2回入力されます。
- **[SHIFT]** **[;]**と押すと、同じデータを繰り返し入力できます。たとえば、100 **[SHIFT]** **[;]** 15 **[DT]**と押すと、100が15回入力されます。
- これらの演算の順序は自由です。上記の例のとおりに行う必要はありません。
- **[▲]**または**[▼]**を押すと、入力したデータをスクロールできます。
- 必要に応じて、表示中のデータを編集できます。新しいデータを入力して**[=]**キーを押すと、古いデータが置き換えられます。このため、ほかの操作（演算や、計算結果の呼び出しなど）を行うときには、まず**[AC]**キーを押してデータの表示を終了させます。
- データの値を変更するには、画面をスクロールして値を表示し、新しい値を入力してから**[=]**を押します（ただし、値を新しいデータとして追加する場合には**[DT]**を押す必要があります）。
- データを削除するには、**[▲]**および**[▼]**を押してから、**[SHIFT]** **[CLR]**を押します。
- 値はメモリに保存されます。画面に**[Data Full]**と表示された場合は、メモリを使いきっており、これ以上データを保存できません。この場合は、**[=]**を押して以下のメニューを表示します。

Edit OFF	ESC
1	2

- **[2]**を押すと、入力したデータを保存しないで入力操作を終了できます。**[1]**を押すと、値は消去されますが、データ入力モードは終了しません。

- **[SHIFT]** **[CLR²]**を押すと、データの入力がキャンセルされません。
- SDまたはREGモードでは、ほかのモードに変更したり、別の回帰の種類 (Lin、Log、Exp、Pwr、Inv、Quad) を選択したりすると、データの表示や編集ができなくなります。

回帰-REG

回帰を使った計算を行うには、REG モードにする必要があります。REG モードを選択するには、**[MODE]** キーを押します。

REG.....**[MODE]** **[3]**

- SDおよびREGモードでは、**[M+]** キーが**[DT]** キーの働きをします。
- REGモードを選択すると、以下の画面が表示されます。

Lin	Log	Exp →
1	2	3



← Pwr	Inv	Quad
1	2	3

- 使用する回帰の種類に対応する数字キー (**[1]**、**[2]**、または**[3]**) を押します。

[1] (Lin) : 直線回帰

[2] (Log) : 対数回帰

[3] (Exp) : 指数回帰

▶ **[1]** (Pwr) : べき乗回帰

▶ **[2]** (Inv) : 逆数回帰

▶ **[3]** (Quad) : 2次回帰

- データを入力する前に、**SHIFT** **CLR** **1** (**Scl**) **≡**を押して、統計用メモリを消去します。
- 以下のキーを押してデータを入力します。
 $\langle x \text{ データ} \rangle$ **▶** $\langle y \text{ データ} \rangle$ **DT**
- 回帰計算の結果はデータの入力によって決まります。計算結果は以下のキー操作によって表示されます。

表示結果	押すキー
Σx^2	SHIFT S-SUM 1
Σx	SHIFT S-SUM 2
n	SHIFT S-SUM 3
Σy^2	SHIFT S-SUM ▶ 1
Σy	SHIFT S-SUM ▶ 2
Σxy	SHIFT S-SUM ▶ 3
\bar{x}	SHIFT S-VAR 1
$x\sigma_n$	SHIFT S-VAR 2
$x\sigma_{n-1}$	SHIFT S-VAR 3
\bar{y}	SHIFT S-VAR ▶ 1
$y\sigma_n$	SHIFT S-VAR ▶ 2
$y\sigma_{n-1}$	SHIFT S-VAR ▶ 3
回帰式の係数 A	SHIFT S-VAR ▶ ▶ 1
回帰式の係数 B	SHIFT S-VAR ▶ ▶ 2
2 次回帰以外 :	
回帰式の係数 r	SHIFT S-VAR ▶ ▶ 3
\bar{x}	SHIFT S-VAR ▶ ▶ ▶ 3
\bar{y}	SHIFT S-VAR ▶ ▶ ▶ 2

- 2次回帰の計算結果は、以下のキー操作によって表示されます。

表示結果	押すキー
ΣX^3	SHIFT S-SUM ►► 1
$\Sigma X^2 Y$	SHIFT S-SUM ►► 2
ΣX^4	SHIFT S-SUM ►► 3
回帰式の係数 C	SHIFT S-VAR ►► 3
\widehat{X}^1	SHIFT S-VAR ►►► 1
\widehat{X}^2	SHIFT S-VAR ►►► 2
\widehat{Y}	SHIFT S-VAR ►►► 3

- 計算された統計値は変数として保存して、数式の中で使うことができます。

直線回帰

- 直線回帰の式は以下のとおりです。 $Y=A+B X$
- 例：気圧と温度の関係は以下の表のとおりです。

気温	気圧
10°C	1003 hPa
15°C	1005 hPa
20°C	1010 hPa
25°C	1011 hPa
30°C	1014 hPa

以下に、回帰式の係数を計算する方法と、この回帰式を使って特定の気圧（1000hPa）での温度と特定の温度（-5°C）での気圧を求める方法について説明します。また、この過程で、決定係数（ r^2 ）と標本共分散も求めます。

回帰（REG）モードにします：
$$\left(\frac{\Sigma XY - n \cdot \bar{X} \cdot \bar{Y}}{n - 1} \right)$$

(モード3) $\boxed{1}$ (Lin)

$\boxed{\text{SHIFT}} \boxed{\text{CLR}} \boxed{1}$ (Scl) $\boxed{=}$ (メモリを消去)

10 $\boxed{,}$ 1003 $\boxed{\text{DT}}$

REG
n= 1.

$\boxed{\text{DT}}$ を押すたびに、入力したデータが保存されます。画面に表示される $n =$ の値は入力したデータのペアの数を示します。

15 $\boxed{,}$ 1005 $\boxed{\text{DT}}$

20 $\boxed{,}$ 1010 $\boxed{\text{DT}}$ 25 $\boxed{,}$ 1011 $\boxed{\text{DT}}$

30 $\boxed{,}$ 1014 $\boxed{\text{DT}}$

回帰式の係数A=997.4 $\boxed{\text{SHIFT}} \boxed{\text{S-VAR}} \boxed{\blacktriangleright} \boxed{\blacktriangleright} \boxed{1} \boxed{=}$

回帰式の係数B=0.56 $\boxed{\text{SHIFT}} \boxed{\text{S-VAR}} \boxed{\blacktriangleright} \boxed{\blacktriangleright} \boxed{2} \boxed{=}$

回帰式の係数 $r=0.982607368$
 $\boxed{\text{SHIFT}} \boxed{\text{S-VAR}} \boxed{\blacktriangleright} \boxed{\blacktriangleright} \boxed{3} \boxed{=}$

気温が -5°C のときの気圧
 = 994.6 $\boxed{(}$ $\boxed{(-)}$ $\boxed{5}$ $\boxed{)}$ $\boxed{\text{SHIFT}} \boxed{\text{S-VAR}} \boxed{\blacktriangleright} \boxed{\blacktriangleright} \boxed{\blacktriangleright} \boxed{2} \boxed{=}$

気圧が1000 hPaの時の気温
 =4.642857143 1000 $\boxed{\text{SHIFT}} \boxed{\text{S-VAR}} \boxed{\blacktriangleright} \boxed{\blacktriangleright} \boxed{\blacktriangleright} \boxed{1} \boxed{=}$

決定係数=0.965517241 $\boxed{\text{SHIFT}} \boxed{\text{S-VAR}} \boxed{\blacktriangleright} \boxed{\blacktriangleright} \boxed{3} \boxed{\text{x}^2} \boxed{=}$

標本共分散=35 $\boxed{(}$ $\boxed{\text{SHIFT}} \boxed{\text{S-SUM}} \boxed{\blacktriangleright} \boxed{3} \boxed{-}$

$\boxed{\text{SHIFT}} \boxed{\text{S-SUM}} \boxed{3} \boxed{\times} \boxed{\text{SHIFT}} \boxed{\text{S-VAR}} \boxed{1} \boxed{\times}$

$\boxed{\text{SHIFT}} \boxed{\text{S-VAR}} \boxed{\blacktriangleright} \boxed{1} \boxed{)} \boxed{\div}$

$\boxed{(}$ $\boxed{\text{SHIFT}} \boxed{\text{S-SUM}} \boxed{3} \boxed{-} \boxed{1} \boxed{)} \boxed{=}$

対数回帰、指数回帰、べき乗回帰、および逆数回帰

- ・ 直線回帰の場合（上記を参照してください）と同様に使用します。

- 対応する回帰式は以下のとおりです：

対数回帰	$y = A+B \cdot \ln x$
指数回帰	$y = A \cdot e^{B \cdot x}$ ($\ln y = \ln A + Bx$)
べき乗回帰	$y = A \cdot e^x$ ($\ln y = \ln A + B \ln x$)
逆数回帰	$y = A+B \cdot 1/x$

2次回帰

- 2次回帰の式は以下のとおりです：

$$y = A+Bx+Cx^2$$

- 例：この例では、所定のデータに基づいて2次回帰を行い、回帰式を求めた後、この回帰式を使って、 $x_i=16$ のときの \hat{y} (y の推定値) および $y_i=20$ のときの \hat{x} (x の推定値) を計算します。

x_i	y_i
29	1.6
50	23.5
74	38.0
103	46.4

回帰 (REG) モードにします：

\blacktriangleright $\boxed{3}$ (Quad)

$\boxed{\text{SHIFT}} \boxed{\text{CLR}} \boxed{1}$ (Scl) $\boxed{=}$ (メモリを消去)

29 \blacktriangleright 1.6 $\boxed{\text{DT}}$ 50 \blacktriangleright 23.5 $\boxed{\text{DT}}$

74 \blacktriangleright 38.0 $\boxed{\text{DT}}$ 103 \blacktriangleright 46.4 $\boxed{\text{DT}}$

118 \blacktriangleright 48.0 $\boxed{\text{DT}}$

回帰式の係数A=-35.59856934

$\boxed{\text{SHIFT}} \boxed{\text{S-VAR}} \blacktriangleright \blacktriangleright \boxed{1} \boxed{=}$

回帰式の係数B= 1.495939414

$\boxed{\text{SHIFT}} \boxed{\text{S-VAR}} \blacktriangleright \blacktriangleright \boxed{2} \boxed{=}$

回帰式の係数C=-6.71629667x 10⁻³

$\boxed{\text{SHIFT}} \boxed{\text{S-VAR}} \blacktriangleright \blacktriangleright \boxed{3} \boxed{=}$

技術データ

トラブルシューティング

計算結果がおかしい場合やエラーが発生した場合は、以下の手順に従ってください。

1. **[SHIFT]** **[CLR]** **[2]** (モード) **[≡]** の順にキーを押すと、すべてのモードと設定がリセットされます。
2. 入力した公式や数式が正しいことを確認します。
3. 正しいモードを選択して、もう一度計算してみます。

問題が解決しない場合は、**[ON]**を押してください。関数電卓の自己診断が行われ、異常が見つかった場合は、保存されているすべてのデータが消去されます。このため、重要なデータは常に関数電卓とは別に控えておくようにしてください。

エラー メッセージ

エラーメッセージが表示されると、すぐに関数電卓は動作を停止します。**[AC]**を押してエラーメッセージを消去するか、**[◀]**または**[▶]**を押して計算を再表示してエラーを修正します。

Math ERROR

- | | |
|------|--|
| 原因 | <ul style="list-style-type: none"> • 計算結果が関数電卓の計算範囲を超えている。 • 関数電卓の入力範囲を超える値を入力しようとした。 • 要求した演算が数学的に妥当でない (0 による除算など)。 |
| 解決方法 | <ul style="list-style-type: none"> • 入力する値が入力許容範囲に収まっていることを確認します。変数メモリを使用している場合は、保存した値が関数電卓の計算範囲を超えないことを確認します。 |

Stack ERROR

- 原因
- 数値用スタックまたは演算用スタックの容量を超過している。数値用スタックは10段、演算用スタックは24段まで。
- 解決方法
- 計算を簡略化します。
 - 計算式を分割します。

Syntax ERROR

- 原因
- 入力した数値または選択した演算子が想定外のものだった。または計算式の書式が正しくない。
- 解決方法
-  または  を押して計算を再表示します。エラーが発生した位置にカーソルが表示されます。問題を解消して、計算を続けてください。

Arg ERROR

- 原因
- 入力したパラメーターが想定外のものだった。または計算式の書式が正しくない。
- 解決方法
-  または  を押して計算を再表示します。エラーが発生した位置にカーソルが表示されます。問題を解消して、計算を続けてください。

入力範囲

関数	入力範囲	
$\sin x$	DEG	$0 \leq x \leq 4.499999999 \times 10^{10}$
	RAD	$0 \leq x \leq 785398163.3$
	GRA	$0 \leq x \leq 4.999999999 \times 10^{10}$
$\cos x$	DEG	$0 \leq x \leq 4.500000008 \times 10^{10}$
	RAD	$0 \leq x \leq 785398164.9$
	GRA	$0 \leq x \leq 4.999999999 \times 10^{10}$
$\tan x$	DEG	$\sin x$ と同じ。ただし以下の場合を除く $ x = (2n - 1) \times 90$
	GRA	$\sin x$ と同じ。ただし以下の場合を除く $ x = (2n - 1) \times \frac{\pi}{2}$
	RAD	$\sin x$ と同じ。ただし以下の場合を除く $ x = (2n - 1) \times 100$
$\sin^{-1} x$	$0 \leq x \leq 1$	
$\cos^{-1} x$		
$\tan^{-1} x$	$0 \leq x \leq 9.999999999 \times 10^{99}$	
$\sinh x$	$0 \leq x \leq 230.2585092$	
$\cosh x$		
$\sinh^{-1} x$	$0 \leq x \leq 4.999999999 \times 10^{99}$	
$\cosh^{-1} x$	$0 \leq x \leq 4.999999999 \times 10^{99}$	
$\tanh x$	$0 \leq x \leq 9.999999999 \times 10^{99}$	
$\tanh^{-1} x$	$0 \leq x \leq 4.999999999 \times 10^{-1}$	
$\text{Log } x / \ln x$	$0 < x \leq 9.999999999 \times 10^{99}$	

10^x	$-9.99999999 \times 10^{99} \leq x \leq 99.99999999$
e^x	$-9.99999999 \times 10^{99} \leq x \leq 230.2585092$
\sqrt{x}	$0 \leq x < 1 \times 10^{100}$
$\frac{2}{x}$	$ x < 1 \times 10^{50}$
$1/x$	$ x < 1 \times 10^{100}; x \neq 0$
$\sqrt[3]{x}$	$ x < 1 \times 10^{10}$
$x!$	$0 \leq x \leq 69$ (x は整数)
${}_n P_r$	$0 \leq n < 1 \times 10^{10}, 0 \leq r \leq n$ (n および r は整数) $1 \leq \{n! / (n-r)!\} < 1 \times 10^{100}$
${}_n C_r$	$0 \leq n < 1 \times 10^{10}, 0 \leq r \leq n$ (n および r は整数) $1 \leq \{n! / \{r!(n-r)!\}\} < 1 \times 10^{100}$
$\text{Pol}(x, y)$	$ x , y \leq 9.99999999 \times 10^{49}$ $(x^2 + y^2) \leq 9.99999999 \times 10^{99}$
$\text{Rec}(r, \theta)$	$0 \leq r \leq 9.99999999 \times 10^{99}$ $\theta : \sin x$ と同じ
	$ a , b, c < 1 \times 10^{100} \quad 0 \leq b, c$
	$ x < 1 \times 10^{100}$ 10進数 \leftrightarrow 60進数の変換 $0^\circ \ 0^\circ \ 0^\circ \leq x \leq 999999^\circ \ 59^\circ$

$\wedge(x^y)$	$x > 0 : -1 \times 10^{100} < y \log x < 100$ $x = 0 : y > 0$ $x < 0 : y = n, \frac{1}{2n+1} (n \text{は整数})$ ただし、 $-1 \times 10^{100} < 1/y \log x < 100$
$\sqrt[x]{y}$	$y > 0 : x \neq 0$ $-1 \times 10^{100} < 1/x \log y < 100$ $y = 0 : x > 0$ $y < 0 : x = 2n+1, \frac{1}{n} (n \neq 0, n \text{は整数})$ ただし、 $-1 \times 10^{100} < 1/x \log y < 100$
a b/c	整数、分子、分母の合計桁数が 10 桁以下である必要があります (区切り記号を含む)
SD (REG)	$ x < 1 \times 10^{50} \quad x\sigma_n, y\sigma_n, \bar{x}, \bar{y} : n \neq 0$ $ y < 1 \times 10^{50} \quad x\sigma_{n-1}, y\sigma_{n-1}, A, B, r : n \neq 0, 1$ $ z < 1 \times 10^{100}$

1回の計算の誤差は10桁目±1です。ただし、連続計算を行うと誤差が累積されます。また、内部で連続計算を行う場合も誤差が累積されます。

例 : $\wedge(x^y)$ 、 $\sqrt[x]{y}$ 、 $x!$ 、 $\sqrt[3]{}$ 、 nPr 、 nCr など。

また、関数の変曲点の近くで、誤差が大きくなる場合があります。

計算の順序

計算は以下の順序で行われます。

1. 座標変換 : $\text{Pol}(x, y)$ 、 $\text{Rec}(r, \theta)$

2. 後置関数

値を入力してから関数キーを押す必要があります。

$$x^3, x^2, x^{-1}, x!, \circ'', \widehat{x}, \widehat{x}_1 \widehat{x}_2 \widehat{y}$$

角度単位変換 (DRG▶)

3. べき乗、べき乗根 : $\wedge(x^y)$ 、 $\sqrt[x]{y}$

4. a b/c

5. π 、 e (自然対数の底)、メモリまたは変数名を使った暗黙の乗算 : 2π 、 $3e$ 、 $5A$ 、 πA など

6. 前置関数

関数キーを押してから値を入力する必要があります。

$$\sqrt{\quad}, \sqrt[\quad]{\quad}, \log, \ln, e^x, 10^x, \sin, \cos, \tan, \sin^{-1}, \cos^{-1}, \tan^{-1}, \sinh, \cosh, \tanh, \sinh^{-1}, \cosh^{-1}, \tanh^{-1}, (-)$$

7. 前置関数の直前の暗黙の乗算 : $2\sqrt{3}$ 、 $A\log 2$ など

8. 順列および組み合わせ : ${}_nP_r$ 、 ${}_nC_r$

9. \times , \div

10. +, -

- 1つの数式の中では、優先順位が等しい演算は右から左へ実行されます。

$$e^x \ln \sqrt{120} \rightarrow e^x (\ln(\sqrt{120}))$$

- その他の演算は左から右へ実行されます。
- かっこで囲まれた部分は先に計算されます。
- 負数のパラメーターが含まれる計算では、負数がかっこで囲む必要があります。マイナス記号 (-) は前置関数として認識されますので、後置関数やべき乗、べき乗根の計算に負数が含まれている場合には注意が必要です。

$$\text{例 : } (-3)^4 = 81$$

$$-3^4 = -81$$

スタック

スタックとは、計算中に値（数値用スタック）と演算順序（演算用スタック）を一時的に保存しておくために使われるメモリ領域のことです。数値用スタックは10段、演算用スタックは24段まであります。計算がスタックの容量を超えると、スタックエラー（Stack ERROR）が発生します。

例：

$$2 \times ((3 + 4 \times (5 + 6) \div 7) \div 8) + 9 =$$

①	2
②	3
③	4
④	5
⑤	6
⋮	

①	×
②	(
③	(
④	+
⑤	×
⑥	(
⑦	+

- 計算は「計算の順序」で説明されている順序で実行されます。計算の過程で、数値用スタックと演算用スタックは消去されます。

自動節電機能

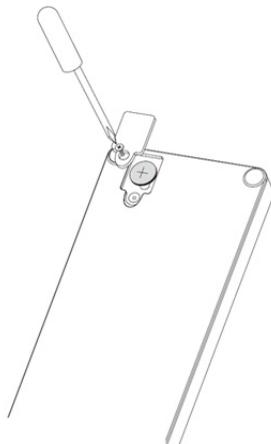
操作しない時間が5分間を超えると、自動的に電源がオフになります。ONを押すと、再び電源がオンになります。

電池の交換

この関数電卓は、太陽電池で機能しますが、バックアップ用としてLR44ボタン電池が装着されています。

関数電卓のディスプレイの表示が薄くなってきたらなるべく早く電池を交換してください。電池の残量が少なくなると、ディスプレイの表示が薄くなります。

1. **[SHIFT]** **[AC]** (オフ) を押します。
2. 電池カバーを留めているネジを外し、次にカバーを取り外します。
3. 電池を取り出します。
4. + (プラス) 面が上になるようにして新しい電池を装着します。
5. 電池カバーを戻し、ネジを締めて固定します。
6. 以下のキーを押して、すべてのモードおよび設定をリセットします：
[SHIFT] **[CLR]** **[2]** (Mode) **[=]**





仕様

電源：

- 太陽電池：本体の前面に搭載
- ボタン電池：1個アルカリ ボタン電池（LR44）

バッテリー寿命：スタンバイ（電源をオンにして操作はしない）状態で約3年、電源オフで約5年

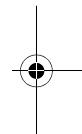
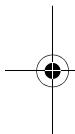
寸法：147.0 × 77.2 × 15.0 mm（本体）

149.5 × 82.2 × 19.5 mm（保護ケース装着時）

質量：93 g（本体）

123 g（保護ケース装着時）

動作温度：0～40℃





規定に関するご注意



この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

European Union Regulatory Notice

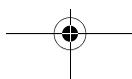
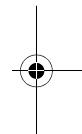
(欧州連合向け)

Products bearing the CE marking comply with the following EU Directives:

- Low Voltage Directive 2006/95/EC
- EMC Directive 2004/108/EC
- Ecodesign Directive 2009/125/EC, where applicable

CE compliance of this product is valid if powered with the correct CE-marked AC adapter provided by HP.

Compliance with these directives implies conformity to applicable harmonized European standards (European Norms) that are listed in the EU Declaration of Conformity issued by HP for this product or product family and available (in English only) either within the product documentation or at the following web site: www.hp.eu/certificates (type the product number in the search field).



The compliance is indicated by one of the following conformity markings placed on the product:



For non-telecommunications products and for EU harmonized telecommunications products, such as Bluetooth®, within power class below 10 mW.



For EU non-harmonized telecommunications products (if applicable, a 4-digit notified body number is inserted between CE and ! (the exclamation mark).

Please refer to the regulatory label provided on the product.

The point of contact for regulatory matters is:

Hewlett-Packard GmbH, Dept./MS: HQ-TRE,
Herrenberger Strasse 140, 71034 Boeblingen,
GERMANY.

Korean Notice Class B (韓國向けクラスB)

B급 기기 (가정용 방송통신기기)	이 기기는 가정용(B급)으로 전자파적합등록을 한 기기로서 주로 가정에서 사용하는 것을 목적으로 하며, 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.
-----------------------	--

Perchlorate Material – special handling may apply (米国向け)

This calculator's Memory Backup battery may contain perchlorate and may require special handling when recycled or disposed in California.

Disposal of Waste Equipment by Users in Private Household in the European Union

(欧州連合向け)



This symbol means do not dispose of your product with your other household waste. Instead, you should protect human health and the environment by handing over your waste equipment to a designated collection point for the recycling of waste electrical and electronic equipment. For more information, please contact your household waste disposal service or go to <http://www.hp.com/recycle>.

化学物質

HP では、REACH (Regulation EC No 1907/2006 of the European Parliament and the Council) などの法的要件に準拠するため、弊社製品に含まれる化学物質に関する情報を、必要に応じてお客様に提供することに努めています。お使いの製品の化学物質情報に関する報告書を参照するには、<http://www.hp.com/go/reach/> (英語サイト) にアクセスしてください。

China RoHS (中国向けRoHS)

产品中有毒有害物质元素的名称及含量
根据中国《电子信息产品污染防治管理办法》

部件名称	有毒有害物质元素					
	铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr(VI))	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
PCA	X	○	○	○	○	○
数量：个/字	○	○	○	○	○	○

○：表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在SJ/T 11363-2006 标准规定的限量要求以下。

X：表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出SJ/T 11363-2006 标准规定的限量要求。

表中标有“X”的所有部件都符合欧盟RoHS法规

欧洲议会和欧盟理事会2003年1月27日关于电子电器设备中限制使用某些有害物质的2002/95/EC 号指令*

注：环保使用期限的参考知识取决于产品正常工作的温度和湿度等条件